

歯科市民集会 開催



多くの市民の共感呼ぶ

「口から幸せになろう」をテーマに2月18日、一般市民を対象とした「歯科市民集会」を開催。『保険で良い歯科医療をめざして』活動を行っている本会歯科部として初めての企画に、一般市民など120人が参加。参加者は3人の講師の話に熱心に耳を傾け、歯科に関する認識を深めた。

石塚祐司理事の司会進行のもと、はじめに主催者を代表し小笠原俊一会長が挨拶。「本会は、医師・歯科医師の団体で、より良い保険医療の実現のために活動している。健康で長生きするために、歯・口の健康は大変重要。この集会を通じ、皆さんの歯や口の健康に対する認識をさらに深めていただきたい」と述べた。

基調講演

北海道医療大学歯学部



池田和博氏



八田政浩氏



芦田眞治理事

次に、医療法人財団夕張希望の杜の歯科医師八田政浩氏が、「医科、歯科、多職種連携が可能にした驚くべき事実」をテーマに講演した。高齢化率の高い地域の医療はどうあるべきか。夕張市が取り組んでいる在宅医療を中心に、住み慣れた自宅で患者が過ごせるように生活を支える連携医療の成果と可能性について述べた。特に、医科歯科のみならず、看護師や歯科衛生士など多くの職種が連携し口腔ケアを行った結果、



発行所・北海道保険医会
〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会館3F
TEL.(011) 231-6281
FAX.(011) 231-6283
編集発行人 小笠原俊一
●毎月5・20日発行
●定価1部千円120円
●郵便振替02790-3-20354

(会員の購読料は、会費に含まれています。)
Eメール info@h-hokenikai.com

本会のホームページアドレス
http://h-hokenikai.com/
是非ご覧ください

—主な目次—

- 2面…時論「医科歯科連携で「口から幸せになろう」
- 解説「機能強化型」在宅療養支援診療所とは
- 支部だより
- 読者のひろば
- 保険診療研究
- 保険医こぼればなし
- 4面…
- 3面…

経口摂取が可能となった食道がん患者の症例の動画には参加者の注目が集まった。

保険医の立場から

本会の芦田眞治常任理事が、保険医の立場から「保険で良い歯科治療の「はなし」と題し講演した。わが国の国民皆保険制

度は「保険証を持つていればどこでもだれもが平等に医療が受けられる」世界に誇る制度であることとを説明した。医療保険と歯科で異なる現状の問題点等について解説。本会が目指す「保険で良い歯科医療」の実現に向けた方策を参加者とともに考えた。

最後に、三浦豊歯科部長が「健康に生きるため

には、衣食住の中で食・お口の健康が最も基本であり大切なこと。本日ご参加の皆様には、口腔ケ

アの重要性を十分ご理解いただき、健康維持の一助としていただければ幸いです。と閉会の挨拶を述べ、集会を終了した。

参加者アンケート

「医科歯科連携の必要性、口腔ケアの大切さ、いかに歯磨きが重要なのか改めて分かりました」ととても身近な問題で分かりやすく説明していただき、多くの声が寄せられた。

